

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

3月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数は2,566件（前月比0.8、前年同月比2566.0）で、前月より減少しました。今シーズンは2月に流行のピークがありました。今後は患者数が減少していくと思われまます。八代（98.00）、有明（41.25）、宇城（40.50）から多く報告されました。

### 小児科定点

（全体傾向）

報告数は4,668件（前月比0.93、前年同月比3.39）で、前年より大幅に増加していますが、前月に比べると減少しています。増加が目立った感染症はヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、A群溶連菌咽頭炎で、減少が目立った感染症は手足口病でした。詳細は疾患別傾向をご参照下さい。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告数は216件（前月比1.0、前年同月比2.5）で、前月とほぼ同水準の患者数でした。令和5年に入ってから著しい増減なく患者発生が続いています。1歳以下が全体の7割程度（145/216）を占めています。菊池（9.60）、八代（7.00）、宇城（6.75）から多く報告されました。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数は68件（前月比1.8、前年同月比3.8）でした。患者数が増加傾向にあり、3月はこの3年間で最も増えていました。年齢別では1歳にピークがあり、2～3歳も多くなっています。天草（5.00）から報告されました。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数は63件（前月比1.4、前年同月比1.1）で、前月より増加しています。年齢別では4歳が最多でした。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数は1,222件（前月比0.9、前年同月比1.4）で、前月よりやや減少しましたが、比較的高めの水準で患者発生が続いています。1歳をピークに全ての年齢層で発生しました。有明（59.20）、菊池（48.80）から多く報告されました。
5. 水痘 : 報告数は15件（前月比1.0、前年同月比0.5）でした。前月と同じ発生数で、前年より減少しています。
6. 手足口病 : 報告数は8件（前月比0.3、前年同月比2.7）でした。前月からさらに減少しています。
7. 伝染性紅斑 : 報告数は0件（前月比-、前年同月比-）でした。1月以降患者発生がありません。
8. 突発性発疹 : 報告数は97件（前月比1.3、前年同月比0.7）で、前月より増加しました。年齢別では1歳に発症のピークがありました。菊池（5.20）から多く報告されました。
9. ヘルパンギーナ : 報告数は224件（前月比2.1、前年同月比74.7）で、前月より急速に増加しました。今後さらなる増加が予想されます。年齢別では1歳をピークに、0～3歳で全体の8割（173/224）を占めました。菊池（25.00）から多く報告されました。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数は7件（前月比0.9、前年同月比1.2）でした。例年と同程度の患者数でした。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 8 件（前月比 0.7、前年同月比 2.7）と前年よりも増加しています。熊本 8 件の報告です。年齢別では 20～59 歳に集まり、低年齢層における発症はありません。

## STD定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：  
報告数は81件（前月比1.2、前年同月比1.1）でした。男女別は、男性58件、女性23件でした。年齢別では、男女とも20代をピークに男性は10代後半から60代まで、女性は10代後半から30代に認めました。地区別は、熊本市69件、次いで御船、有明で共に4件、すべて女性で、八代で女性のみ2件、宇城で男性のみ2件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：  
報告数は29件（前月比1.9、前年同月比1.3）でした。男女別は、男性13件、女性16件でした。年齢別では、男性は30代から50代、女性は20代から70代まで認めました。地区別は、熊本で13件、宇城で男性のみ5件、以下、女性のみ八代、有明で4件、菊池で3件でした。
3. 尖圭コンジローマ：  
報告数は8件（前月比0.9、前年同月比1.6）でした。男性のみ8例でした。年齢別では20代に6件、40代後半と50代に各1件認めました。地区別は、熊本市外からの報告はありませんでした。
4. 淋菌感染症：  
報告数は23件（前月比1.0、前年同月比1.8）でした。男女別は、男性22件、女性1件でした。年齢別では男性では10代から50代まで認めました。女性は20代後半に認めました。地区別は、熊本22件、八代が女性1件でした。

## 基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：  
報告数は26件（前月比1.0、前年同月比1.7）でした。定点当たり件数は有明、阿蘇、熊本が各々4.0、3.0、2.8と多くなっています。小児例は5-9歳1件です。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：  
報告数は2件（前月比0.7、前年同月比1.0）でした。1-4才が1件です。他は30歳台1件です。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：  
報告数は0件（前月比-、前年同月比-）でした。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は1件（前月比-、前年同月比-）でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数は3件（前月比3.0、前年同月比1.5）でした。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は1件（前月比-、前年同月比-）でした。

4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比-、前年同月比-）でした。

5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：  
報告数は0件（前月比-、前年同月比-）でした。

### 届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	13件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	1件
4類感染症	： レジオネラ症	4件
	重症熱性血小板減少症候群	3件
	日本紅斑熱	1件
5類感染症	： アメーバ赤痢	1件
	後天性免疫不全症候群	2件
	侵襲性肺炎球菌感染症	5件
	梅毒	21件
	百日咳	1件
新型インフルエンザ等感染症	：	
	新型コロナウイルス感染症	3,623件